

FAST FACTS

2022年1月31日現在

企業理念

To Mobilize the World's Data (世界のデータをモビライズ)

社名

設立	2012年
設立者	Thierry Cruanes, Benoit Dageville
CEO	フランク・スルートマン
従業員数	全世界で3,950人以上
拠点	ボーズマン、アムステルダム、ベルリン、デンバー、ドバイ、エルサレム、ロンドン、ニューヨーク、パリ、ソウル、サンマテオ、シドニー、東京など、世界20か所以上にオフィスを展開

Snowflakeについて

Snowflakeは、Snowflakeのデータクラウドを用い、あらゆる組織が自らのデータを活用できるようにします。顧客企業はデータクラウドを利用してサイロ化されたデータを統合し、データを検索して安全に共有しながら、さまざまな分析ワークロードを実行しています。データやユーザーがどこに存在するかに関係なく、Snowflakeは複数のクラウドと地域にまたがり単一のデータ体験を提供します。多くの業界から何千ものお客様（2022年1月31日時点で、2021年のFortune 500社のうち241社、2021年のForbes Global 2000 (G2K) 社のうち488社を含む）が、Snowflakeデータクラウドを全社で幅広いビジネスに活用しています。詳細については、[snowflake.com](https://www.snowflake.com)をご覧ください

データクラウド

データクラウドは、Snowflakeの革新的なプラットフォームに支えられて、Snowflakeの顧客、パートナー、データプロバイダーがデータサイロを解消し、規制に準拠して統制された安全な方法で、急速に増大するデータから価値を引き出すことができるグローバルネットワークです。具体的に言うと、データクラウドでは何千もの企業が統制された方法でシームレスにデータにアクセスし、データの潜在的な可能性を模索、共有し、解放しています。

データクラウドを有効化する一連の独自機能：マルチクラスターと共有データアーキテクチャのほぼ無制限の拡張性と効率性、複数のパブリッククラウドにおいて、まるで1つのクラウドであるかのようにデータを利用できるシームレスな相互運用性、オフにできないセキュリティ機能の搭載、無制限の数の組織がデータの移動やコピーなしでほぼ同時にライブデータを共有、受信できるモダンデータシェアリング。

顧客はSnowflakeのプラットフォームを使用して、データエンジニアリング、データウェアハウジング、データレイク、データサイエンス、データシェアリングのほか、データアプリケーションの構築や運用も含む多数のクリティカルなワークロードを実行できます。

顧客

Snowflakeは、Fortune 500²に掲載された241社、およびForbes Global 2000³に掲載された488社含め、5,900社を超える顧客¹を抱え、急速に成長し続けています。注目すべき顧客として、Adobe、Age of Learning、Airbnb、Albertsons Companies、Anthem Inc.、Blackboard、BlackRock、Capital One、ConAgra Foods、Deliveroo、Doordash、Dropbox、Electronic Arts、Hulu、Instacart、JetBlue、Kraft Heinz、Lionsgate、Logitech、McKesson、NBC Universal、Novartis、Office Depot、Okta、Overstock.com、PDX、PepsiCo、Rent the Runway、University of Notre Dame、Yamahaを含む多数の企業にご利用いただいています。

パートナー

- Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Salesforce、Alation、Cognizant、Collibra、Dataiku、DataRobot、Deloitte、Ernst & Young、Fivetran、Informatica、Infosys、Matillion、NTT Data、Qlik、Slalom、Talendと戦略的提携を結んでいます。
- Snowflakeパートナーネットワークは、285社を超えるPowered by Snowflakeパートナーを筆頭に、幅広いクラウドサービスパートナー、テクノロジーパートナー、データプロバイダーパートナーで構成されています。⁴

競争上の差別化要因



アーキテクチャ: Snowflakeのマルチクラスターおよび共有データアーキテクチャは、スピーディーかつ効率的に大量のデータを処理するために設計されています。Snowflakeの全データ処理を支えるコンピューティングリソースはクラスターであり、クラスター1個から導入できます。クエリ実行時にはこれらのクラスターにより、クエリ条件を満たす必要最小限のデータがストレージレイヤーから取得されます。取得されたデータは、コンピューティングリソースにローカルでキャッシュされます。また将来のクエリの性能を高めるために、クエリ結果もキャッシュされます。



あらゆるクラウドの組み合わせに対応: Snowflakeのクラウドデータプラットフォームは、ニーズに合わせてクラウドを組み合わせられる、クロスクラウドアプローチなどのマルチクラウド戦略に対応しています。世界中どこからでも、AWS、Azure、Google Cloud Platformを介してSnowflakeを利用できます。互換性のある一般的なコードベースを使用しているSnowflakeには、グローバルにデータを複製できるメリットがあります。つまりユーザーは、アプリケーションのコードを書き換えたり新しいスキルを身に付けたりしなくても、あらゆるサポート地域のあらゆるサポート対象クラウドにデータを移すことができます。



安全なデータシェアリング: Snowflakeのマルチクラスターおよび共有データアーキテクチャでは、管理された安全な方法でリアルタイムのデータシェアリングができます。独自のプライベートデータエクスチェンジを構築して、一元管理されたデータハブでビジネスパートナー、サプライヤー、従業員とデータを共有し、コラボレーションを行えます。Snowflakeデータマーケットプレイスを利用すれば、簡単に外部データを取得し、データマネタイズの新たな道を切り開くことができます。



管理業務がほぼゼロ: Snowflakeは従来のプラットフォームやビッグデータソリューションでは必要な管理業務を排除し、クラウドで稼働する真のData Platform as a Serviceを実現しました。機能はあらかじめ備わっており、インフラストラクチャの管理や調整を行う必要はありません。Snowflakeが自動でインフラストラクチャの管理、最適化、可用性の確保、データ保護などを行うため、ユーザーはデータの管理ではなくデータの利用に集中できます。



従量課金: 秒単位の従量制で、コンピューティングやストレージの料金が決まるため、お支払いいただくのは、データ保管に必要なストレージ容量と利用したコンピュート処理量の費用のみです。そのため多額の初期費用、将来的には必要になっても今は不要なシステム、今は使わないのに費用だけかかる無駄なクラスターは、一切必要ありません。



多様なデータの混在に対応: Snowflakeは、従来のソースから得たビジネスデータにも、自動生成された新しいソースから得たビジネスデータにも対応でき、面倒な変換やトレードオフは必要ありません。Snowflakeのテクノロジーを利用すれば、JSON、Avro、XMLといった構造化データと半構造化データの両方をネイティブに読み込んで最適化し、性能や柔軟性を損なうことなくSQLで使用できます。



魅力的な性能: Snowflakeは従来のオンプレミス型のデータプラットフォームやクラウドデータプラットフォームよりはるかに短い時間で、クエリとタスクを処理します。Snowflakeのカラム型データベースエンジンには高度な最適化機能を取り入れられており、例えば自動クラスタリングが実行されるため、新しいデータをテーブルに読み込む際に手作業でデータを再クラスタリングする必要がありません。さらに臨機応変で自動的にスケールアップとスケールダウンが繰り返されるため、ユーザーは必要な時に必要な性能を確保できます。



フェールオーバーと事業継続性: クラウドリージョンやクラウドプロバイダーの境界を越えてデータを複製でき、データやアプリを移動させる必要がないため、フェールオーバーと事業継続性を確保し、安心して運用できます。



多量、多様なワークロードも軽々と処理: Snowflakeのマルチクラスターおよび共有データアーキテクチャは、ユーザーが実行し得るようなワークロードにも対応できるよう設計されています。データウェアハウスとしてほぼ無限の性能、拡張性、同時実行性を備えています。データレイク内のデータを活用し、強固なデータパイプラインを構築して、データエンジニアリングを合理化できます。ネイティブ統合により、データサイエンスワークロードを簡素化し、加速できます。Snowflakeデータマーケットプレイスを利用すれば、ほかにもデータを収益化する方法を新しく開拓できます。さらにSnowflakeは、データを土台とするアプリケーションやサービスの開発者に、ソリューションを構築、実行するための既製のインフラストラクチャとエンジンを提供します。



あらゆる規模のデータ、ワークロード、ユーザーに対応: Snowflakeのマルチクラスターおよび共有データアーキテクチャは、ストレージとコンピューティングを分けているため、ダウンタイムや混乱を引き起こさず臨機応変に、スケールアップとスケールダウンができます。自動で拡張し、ほぼどんな量のデータ、ワークロード、同時ユーザーにも対応できるため、データ移動、データマート、データコピーは必要ありません。



広範なエコシステム: ユーザーはSnowflakeをカスタムツールやパッケージアプリケーションと迅速に統合できます。ODBC、JDBC、Javascript、Python、Spark、R、Node.jsなど、標準のネイティブコネクタにより、多様な言語とフレームワークの開発者とツールに対応できます。

1. 2022年1月31日現在。顧客総数の定義については、2022年度第4四半期の収益に関するプレスリリースをご覧ください。 2. 2022年1月31日現在。2021年のFortune 500リストに基づきます。Fortune 500に名を連ねる弊社のお客様の数は、Fortune誌が行うFortune 500リストの年次更新、買収、合併、分割、お客様に関わるその他の市場活動によって変動します。 3. 2022年1月31日現在。2021年のForbes Global 2000リストに基づきます。Forbes Global 2000に名を連ねる弊社のお客様の数は、Forbes誌が行うGlobal 2000リストの年次更新、買収、合併、分割、お客様に関わるその他の市場活動によって変動します。 4. 2022年1月31日現在。